

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実 各分野との交流・連携の充実

事業名	教育委員会運営事業(教育委員会表彰)	担当課名	教育政策課
-----	--------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	本市の教育の振興・発展に優れた実績を収めた者や、文化・芸術活動やスポーツにおいて優秀な成績を収めた者に対して表彰を行い、教育や文化に対する関心を喚起し、本市の教育と文化の向上・発展に寄与すること。
(事業概要等)	各種大会やコンクールなどで優秀な成績を上げた個人、団体について、学校や社会教育団体などからの推薦を受け、または広報紙やホームページを通じて公募を行い、教育委員会において審査し、受賞者(個人及び団体)を決定する。その後、家族や来賓など各関係者立会いのもと教育委員会表彰式を挙行し、表彰を行う。

【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	56	55	0	109	
うち市負担分(千円)	56	55	0	109	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
受賞者数(個人)	人	35	20	9	10
受賞団体数	団体	1	4	1	2
来場者数(一般来場者)	人	42	—	—	—
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
新型コロナウイルス感染症対策に伴い、大会やコンテスト等の多くが中止になったことから、受賞者は減ったものの、個人や団体に対して表彰を行い、それぞれの分野において教育活動、文化活動及び体育活動に対するモチベーションを高めることができ、今後のより活発な活動への一助として効果が期待できた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	表彰式の開催にあたっては、生徒・児童の保護者が来場しやすい土曜日の開催とし、多くの来場者を収容できる会場で行った。また、毎年同じ団体、個人が表彰されることが多いことから、教育委員会表彰規程の一部改正を行い、再度の表彰を行わないよう改善を行った。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	受賞者は体育関係が多く、文化・芸術部門の推薦が少ないといった傾向がある。
---------	--------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 表彰式を土曜日開催とし、多くの来場者を収容できる会場とするなど、多くの人が来場しやすい環境づくりを行ってきたが、より、受賞者を発掘できる手法を検討する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	募集については市のホームページや広報紙等で広く行うことを継続し、インターネットやSNSの有効な活用について研究する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	②	学習活動の支援及び学習環境の充実
事業名	先端教育人材育成事業		担当課名	教育政策課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
先進的な技術や取組みの新たな可能性に触れる機会となる講演会等を実施することでIoT等への関心を高める。また、能力開発等の先端教育を実現することにより、中長期的な人材育成や確保を図る。
(事業概要等)
・教職員がビジョントレーニング研修を受講することで、子ども達の身体能力の向上や運動・学習障がいの改善を図る。 ・先進的な技術や取組みの新たな可能性に触れる機会となる講演会等を実施する。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	410	823	120	2,474	
うち市負担分(千円)	410	823	120	2,474	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
講演会開催数	回	2	1	0	2
ビジョントレーニング研修会参加人数	人(述べ)	0	72	55	204
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
小中学校・保育所・幼稚園・認定こども園の職員を対象にビジョントレーニング研修を実施。ビジョントレーニングで学んだことを活用し子ども達の身体能力の向上や運動・学習障がいの改善を図る。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成30年度より実施していた読書教室を令和2年度で終了とした。
--------	---------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	成果指標の設定が困難。 先進的な取組みを継続的に実施するには講師の選定や集客に時間を要する。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 先進的な取組みを通じて、人材育成を図る。 多くのひとに講演会等に参加してもらうため情報の周知啓発を図る。
改革・改善策等の具体的内容	先進的な取組みについて研究・情報収集を継続して実施する。 講演会等を実施する場合は広報誌・ホームページ・SNSを活用し、多くの方が参加できる機会をつくる。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	①	学習環境の整備・充実

事業名	情報環境整備事業	担当課名	教育政策課
-----	----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	子どもと十分に向き合う時間を確保するため、教職員の業務負担を軽減することを目的とする。
(事業概要等)	教職員が使用する校務用パソコンを配備する。 ICT支援員を配置する。 通信環境を整備する。

【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	6,621	20,536	150,992	86,627	
うち市負担分(千円)	6,621	20,536	83,163	57,170	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
教職員への校務用パソコン普及率	%	78	78	95	100
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
GIGAスクール構想の実現に向け、教育支援センターで集約しインターネット接続していたものを、学校から直接インターネット接続し、大容量通信ネットワークを整備した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	校務用パソコンのリースを開始したことで、学校事務の効率化及び情報セキュリティが向上した。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	全ての機器を更新できてはいないため、いまだに老朽化した機器を利用している場合がある。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 教職員の業務負担の改善をするためには引き続き校務環境の改善が必要である。
改革・改善策等の具体的内容	全教職員に校務用パソコンを配備できていないのでリース台数の拡充を検討するとともに、更新については計画的に実施する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名 ②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	基本施策名 ①就学前・学校教育	NO ①	施策の展開方向 学習環境の整備・充実
------------------	----------------------------	--------------------	---------	-----------------------

事業名	小学校維持管理事業	担当課名	教育政策課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	教育環境を整えるため適正な維持管理を図ることが必要となっている。
------------	----------------------------------

(事業概要等)	小学校児童の安全・安心な学習環境の確保のために、老朽対策等を推進し、児童の安全確保に取り組む。 ・小学校の安全点検(浄化槽定期検査、簡易専用水道定期検査、揮発性有機化合物検査、エレベーター保守点検、消防設備保守点検、自家用工作物保管理、貯水槽清掃、体育遊具保守点検、砂場殺菌洗浄、防火設備定期検査、フロン定期点検)
---------	--

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	131,122	128,168	128,423	197,054	
うち市負担分(千円)	127,704	124,732	125,244	194,033	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値

(指標を設定できない理由)	施設の適正な維持管理に係る事業である為、指標設定不可
---------------	----------------------------

(成果の概要)	
---------	--

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	厳しい財政状況の中、昭和40年代から昭和50年代に建築されたものが多く老朽化が深刻な課題となっている。限られた予算において可能な限り、安全面や機能面の改善を図ることや、地震等の災害発生時に避難場所となる体育館の機能の維持管理が課題である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 老朽化が深刻な状況となっていることから、大規模改修を継続し、安全面や機能面において適正な維持管理が必要である。
改革・改善策等の具体的内容	老朽化対策を進めるための計画的な施設整備予算の確保を図っていくとともに、老朽化対策と併せて様々な学習内容・学習形態による活動が可能となる機能面の改善を図り、引続き適正な維持管理を実施する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実
事業名	小学校給食事業		担当課名	教育政策課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
児童に安心・安全な学校給食を提供することにより、心身の健全な発達、食育を図ること等を目的とする。
(事業概要等)
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校給食調理業務委託(調理、配缶・配膳、洗浄消毒、施設等の整備、衛生管理) ・小学校給食実施のための環境整備(必要物品の購入・施設の修繕等) ・学校給食会の運営 ・公会計化に向けた環境整備

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	130,590	137,304	203,973	139,065	
うち市負担分(千円)	112,390	124,204	125,131	126,065	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
給食残渣率年間平均	%	3	4	5	3
給食の食材における大阪産物資の使用率	%	17	19	14	20
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
国の国産農林水産物学校給食提供補助金を活用し、国産の農林水産物を取り入れた給食を提供する等、内容の充実に努めたが、コロナウイルス感染拡大防止のため、様々な制限下での給食実施となり、給食残量は前年度より増加した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	より安心・安全な給食の提供を行うため、市独自で作成している衛生管理マニュアルの改訂を行った。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	教職員の働き方改革及び学校給食費の適正管理の観点から、小学校給食費の公会計化をR4から実施できるよう整備が必要である。また、食物アレルギーなどへのきめ細やかな給食対応や、生涯にわたって健康で豊かな生活を送るために必要な食育の推進が求められている。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 安心・安全な給食を今後も安定して提供し続けていくため、調理業務の委託継続により、学校給食の水準を維持するとともに、更なる衛生管理を進める。
改革・改善策等の具体的内容	アレルギー対応においては、全校で安定した対応をとれるよう、アレルギー対応の手引きを適宜更新していく。また、小学校給食費の公会計化を機に、収納方法の拡充の検討、システムの改修等準備を進める。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	① ③	学習環境の整備・充実 学校教育の充実

事業名	小学校教材整備事業	担当課名	教育政策課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
「学習への興味・関心を高め、分かりやすい授業」などICT機器を活用した授業づくりを推進するため、小学校にICT環境の整備を行うことを目的とする。

(事業概要等)
ICT機器の整備等を行い、より良い教育環境の整備・充実を図る。
・様々な場所での使用を前提としたタブレットパソコンのリース
・一人一台端末の整備

【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	17,422	10,902	187,298	4,573	
うち市負担分(千円)	17,422	10,902	72,146	4,573	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
電子黒板機能付プロジェクタ教室設置率 設置教室数÷普通教室数	%	71	71	71	71
理科教育設備整備率 整備金額÷整備基準金額	%	72	71	65	67

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)
一人一台端末(タブレット)を全児童に配備するとともに、家庭に通信環境が整っていない場合にモバイルルーターの貸出しを行った。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	全校の普通教室に、平成29年度に4～6年生、平成30年度に3年生で電子黒板機能付プロジェクタを設置した。これにより、児童が楽しく学びながら理解が深まる、分かり易い授業の推進が出来き、授業の理解度や学習意欲の向上に寄与している。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	ICT機器を活用した授業づくりを行うために、タブレットパソコンのより使いやすい環境を整備する必要がある。そのため、インターネットの活用を進めるためのネットワーク環境の充実を図るとともに、全ての教室で大型モニタに映し出せるプロジェクタを整備する必要がある。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) ICT機器を活用した授業づくりを行うために、ICT環境の充実が必要である。
	改革・改善策等の具体的内容	より効果的な授業を進めるための環境づくりとして、LAN設備などのネットワーク環境の充実や双方向型の授業を展開するため、プロジェクタの導入など検討する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	①	学習環境の整備・充実
事業名	小学校施設整備事業		担当課名	教育政策課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
学校の耐震化は、全て完了したが、昭和40年代から昭和50年代に建築されたものが多く、老朽化が深刻な状況となっており、安全面や機能面において改善を図ることが必要となっている。
(事業概要等)
小学校児童の安全・安心な学習環境の確保のために、老朽対策等を推進し、児童の安全確保に取り組んでいる。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	49,462	12,021	353,926	515,744	
うち市負担分(千円)	37,889	12,021	23,762	9,564	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
小学校大規模改修率(25年毎)	%	69	66	66	63
小学校マンホールトイレの設置率	%	25	25	25	25
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
条南小学校の校舎長寿命化工事(3期の1期目)を実施した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	・体育館耐震化(H17～H19) ・校舎の耐震化(H7～) ・体育館非構造部材の改修(H24～H28) ・校舎の長寿命化(H26～)
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	厳しい財政状況の中、昭和40年代から昭和50年代に建築されたものが多く老朽化が深刻な課題となっている。限られた予算において可能な限り、安全面や機能面の改善を図ることや、地震等の災害発生時に避難場所となる体育館の機能の充実が課題である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 老朽化が深刻な状況となっていることから、大規模改修を継続し、安全面や機能面において改善を図る必要性がある。
改革・改善策等の具体的内容	老朽化対策を進めるための予算の確保を図っていくとともに、老朽化対策と併せて様々な学習内容・学習形態による活動が可能となる機能面の改善を図っていく。また、避難所の充実として、校舎の増改築に併せてマンホールトイレを整備していたが、他の学校においても整備手法など調査・研究を進める。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	① ③	学習環境の整備・充実 学校教育の充実

事業名	小学校教育振興事業	担当課名	教育政策課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	未来を担う児童に必要な良質な教材を整備し、より良い教育環境を提供することを通じて児童の学力、心身の育成や社会性の向上を目的とする。
(事業概要等)	時代に応じた多様な学習活動に対応するため、市立小学校の各教科授業に必要な教材の整備等を行い、より良い教育環境の整備・充実を図る。 ・教具教材の購入 等

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	6,657	5,989	5,381	5,727	
うち市負担分(千円)	5,817	5,117	4,668	4,827	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
児童一人あたり備品購入額	円	1,662	1,621	1,413	1,472
理科教育設備整備率 整備金額÷整備基準金額	%	72	71	65	67
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
授業を行う上で、より良い教育環境の整備により、児童の学力、心身の育成や社会性の向上に資するとともに、各学校において多様な学習活動に対応するための教材等の整備及び有効活用により、授業の理解度や学習意欲の向上に寄与している。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	学校ごとで購入していた教具教材について、より効果的、効率的な予算執行とするため、年度当初の同時期に必要なものを、教育総務課において一括購入を行うこととした。 より一層学校ごとの特色を発揮できるものとするため、平成25年度から、各学校予算の要求時に、予算要求総額の上限を設定した上で、各学校の実情に応じた科目ごとの予算要求を行う仕組みを構築した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	厳しい財政状況から限られた事業予算を、充実した教育環境に向けた教材整備、児童の学力向上については教育の質の向上に資するため、いかに効果的・効率的に執行するかが課題である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市立小学校の各教科授業を行う上で、より良い教育環境のための教材整備を継続し、多様な学習活動への対応や教材の有効活用により、授業の理解度や学習意欲の向上を図る必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	効果的な授業を進めるための予算の確保については、実情に応じた科目ごとの予算要求により対応していくとともに、総事業費を基本とする予算の確保を図っていく。 学校の特色のある取組みを支援する予算要求の仕組みは、引き続き実施していく。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	① ③	学習環境の整備・充実 学校教育の充実
事業名	小学校プール維持管理事業		担当課名	教育政策課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
教育の一環として水泳授業を安全に実施するため適正に維持管理を行う。
(事業概要等)
安全・快適で衛生的なプール施設の運用にあたって、学校環境衛生基準を満たす水質検査など各種の保守点検を実施する。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	7,705	6,080	415	7,447	
うち市負担分(千円)	7,705	6,080	415	7,447	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
利用人数	人	4,005	3,839	0	—
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度は水泳授業未実施であった。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	老朽化が進み、安全・快適で衛生的なプールを維持するためには多額の事業費を要する。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 施設の安全かつ良好な衛生面を維持することを最優先として継続する。
改革・改善策等の具体的内容	安全・快適で衛生的なプール施設の運用が求められているが、各施設及び設備機器の老朽化が著しく、継続使用にあたっては施設及び設備の改修工事が必要である。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	① ③	学習環境の整備・充実 学校教育の充実
事業名	小学校プール施設整備事業		担当課名	教育政策課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
教育の一環として水泳授業を実施するための設備・環境を提供する。
(事業概要等)
安全・快適で衛生的なプール施設の運用にあたって、学校環境衛生基準を満たす水質検査など各種の保守点検を実施するとともに、施設・設備の営繕、修繕を行う。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,009	2,019	3,276	4,204	
うち市負担分(千円)	2,009	2,019	3,276	4,204	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
利用人数	人	4,005	3,839	0	—
老朽改修を行った小学校プール数	%	43	43	57	71
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
条東小学校プールの塗装を行った。 施設の修繕を実施することにより、安全、安心なプール施設の確保が図られた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	施設及び設備の老朽化が進み、安全・快適で衛生的なプールを維持するためには多額の事業費を要する。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 施設の安全かつ良好な衛生面を維持することを最優先として継続する。
改革・改善策等の具体的内容	安全・快適で衛生的なプール施設の運用が求められているが、各施設及び設備機器の老朽化が著しく、継続使用にあたっては施設及び設備の改修工事が必要であるため、年次的にプールの塗装などの改修を進めていく。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	①	学習環境の整備・充実
事業名	中学校維持管理事業	担当課名	教育政策課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
昭和40年代から昭和50年代に建築されたものが多く、老朽化が深刻な状況となっており、安全面や機能面において改善を図ることが必要となっている。
(事業概要等)
中学校生徒の安全・安心な学習環境の確保のために、老朽対策等を推進し、生徒の安全確保に取り組んでいる。 ・中学校の安全点検(簡易専用水道定期検査、揮発性有機化合物検査、エレベーター保守点検、消防設備保守点検、自家用工作物保安管理、貯水槽清掃、防火設備定期検査)

【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	31,520	30,186	30,521	67,000	
うち市負担分(千円)	28,506	23,810	27,701	64,000	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
施設の適正な維持管理に係る事業である為、指標設定不可					
(成果の概要)					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	・体育館耐震化(H17~H19) ・校舎の耐震化(H7~H23) ・体育館非構造部材の改修(H28)
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	厳しい財政状況の中、昭和40年代から昭和50年代に建築されたものが多く老朽化が深刻な課題となっている。限られた予算において可能な限り、安全面や機能面の改善を図ることや、地震等の災害発生時に避難場所となる体育館の機能の充実が課題である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 老朽化が深刻な状況となっていることから、大規模改修を継続し、安全面や機能面において改善を図る必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	老朽化対策を進めるための予算の確保を図っていくとともに、老朽化対策と併せて様々な学習内容・学習形態による活動が可能となる機能面の改善を図っていく。また、避難所の充実として、校舎の増改築に併せてマンホールトイレを整備していたが、他の学校においても整備手法など調査・研究を進める。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	① ③	学習環境の整備・充実 学校教育の充実

事業名	中学校教材整備事業	担当課名	教育政策課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
「学習への興味・関心を高め、分かりやすい授業」などICT機器を活用した授業づくりを推進するため、中学校にICT環境の整備を行うことを目的とする。
(事業概要等)
ICT機器の整備等を行い、より良い教育環境の整備・充実を図る。 ・様々な場所での使用を前提としたタブレットパソコンのリース ・一人一台端末の整備

【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4,635	4,635	97,584	3,863	
うち市負担分(千円)	4,635	4,635	37,016	3,863	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
プロジェクト教室設置率・設置教室数÷普通教室数	%	100	100	100	100
理科教育設備整備率 整備金額÷整備基準金額	%	50	48	50	53

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

一人一台端末(タブレット)を全生徒に配備するとともに、家庭に通信環境が整っていない場合にモバイルルーターの貸出しを行った。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	平成28年度において、従来パソコン教室へデスクトップパソコンをリース配置していたものを、リース契約満了時期にあわせて、楽しく学び続けられる環境づくりを推進するため、タブレットパソコンのリースへ方針転換した。また、平成29年度で全校の全普通教室にプロジェクトの設置が完了した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	ICT機器を活用した授業づくりを行うために、タブレットパソコンをより使いやすい環境を整備する必要がある。そのため、インターネットの活用を進めるためのネットワーク環境の充実を図る必要がある。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) ICT機器を活用した授業づくりを行うために、ICT環境の充実が必要である。
	改革・改善策等の具体的内容	より効果的な授業を進めるための環境づくりとして、LAN設備などのネットワーク環境の充実を検討する。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	①	学習環境の整備・充実
事業名	中学校施設整備事業		担当課名	教育政策課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
昭和40年代から昭和50年代に建築されたものが多く、老朽化が深刻な状況となっており、安全面や機能面において改善を図る。
(事業概要等)
中学校生徒の安全・安心な学習環境の確保のために、老朽対策等を推進し、生徒の安全確保に取り組む。

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	8,689	23,434	3,835	322,630	
うち市負担分(千円)	8,689	23,434	3,835	3,681	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
中学校大規模改修率(25年)	%	63	53	42	42
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
各中学校の故障した空調設備の取替工事を実施した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	・体育館耐震化(H17～H19) ・校舎の耐震化(H7～H23) ・体育館非構造部材の改修(H28)
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	昭和40年代から昭和50年代に建築されたものが多く老朽化が深刻な課題となっている。限られた予算において可能な限り、安全面や機能面の改善を図ることや、地震等の災害発生時に避難場所となる体育館の機能の充実が課題である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 老朽化が深刻な状況となっていることから、大規模改修を継続し、安全面や機能面において改善を図る必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	老朽化対策を進めるための予算の確保を図っていくとともに、老朽化対策と併せて様々な学習内容・学習形態による活動が可能となる機能面の改善を図っていく。また、避難所の充実として、小学校の校舎の増改築に併せてマンホールトイレを整備していたが、他の学校においても整備手法など調査・研究を進める。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実

事業名	中学校給食事業	担当課名	教育政策課
-----	---------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
学校給食法の趣旨に則り、生徒に安全で安心な学校給食を提供することにより、心身の健全な発達に資するとともに、食育の推進を図ること等を目的とする。

(事業概要等)
中学校給食実施のための環境整備
中学校給食実施に係る調理業務等委託
中学校給食費徴収業務

【事業費】

項目/年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	29,130	131,593	173,686	229,755	
うち市負担分(千円)	29,130	71,392	172,748	115,675	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
給食残渣率年間平均	%		13	17	15

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)
小中学校の栄養教諭と教育委員会の管理栄養士及び委託業者との会議において、前月の献立に対する反省を毎月行い、献立の改善に努めたが、コロナウイルス感染拡大防止のため、様々な制限下での給食実施となり、残渣率は前年度より増加した。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	小中学校の栄養教諭、教育委員会の管理栄養士及び委託業者において、生徒の嗜好を考慮した献立の工夫を行うための会議を開催するとともに、より生徒の健康に資する食材の選定を行っている。また、家庭配布用の献立表に、食育に関する記事を掲載している。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	現状の給食に対し、生徒がどのように感じているのか、アンケート調査等を通じて把握し、今後の給食に生かしていくことが必要と考えられる。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 今後においても、委託業者と市が連携して安心・安全な給食提供を継続する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	全生徒に安心・安全な給食を提供できるよう、アレルギーの対応を定めたマニュアルの更新を適宜行うほか、アレルギーに係る事故やヒヤリハット事例を全校で共有し、未然に防ぐための対応について検討する。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	① ③	学習環境の整備・充実 学校教育の充実

事業名	中学校教育振興事業	担当課名	教育政策課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	未来を担う生徒に必要となる良質な教材を整備し、より良い教育環境を提供することを通じて生徒の学力、心身の育成や社会性の向上を目的とする。
(事業概要等)	時代に応じた多様な学習活動に対応するため、市立中学校の各教科授業に必要な教材の整備等を行い、より良い教育環境の整備・充実を図る。 ・教具教材の購入 等

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,914	2,870	2,807	2,405	
うち市負担分(千円)	2,433	2,396	2,355	1,905	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
生徒一人あたり備品購入額	円	1,359	1,334	1,273	1,072
理科教育設備整備率 整備金額÷整備基準金額	%	50	48	50	53
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
授業を行う上で、より良い教育環境の整備により、生徒の学力、心身の育成や社会性の向上に資するとともに、各学校において多様な学習活動に対応するための教材等の整備及び有効活用により、授業の理解度や学習意欲の向上に寄与している。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	学校ごとで購入していた教具教材について、より効果的、効率的な予算執行とするため、年度当初の同時期に必要なものを、教育総務課において一括購入を行うこととした。 より一層学校ごとの特色を発揮できるものとするため、平成25年度から、各学校予算の要求時に、予算要求総額の上限を設定した上で、各学校の実情に応じた科目ごとの予算要求を行う仕組みを構築した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	厳しい財政状況から限られた事業予算を、充実した教育環境に向けた教材整備、生徒の学力向上については教育の質の向上に資するため、いかに効果的・効率的に執行するかが課題である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市立中学校の各教科授業を行う上で、より良い教育環境のための教材整備を継続し、多様な学習活動への対応や教材の有効活用により、授業の理解度や学習意欲の向上を図る必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	効果的な授業を進めるための予算の確保については、実情に応じた科目ごとの予算要求により対応していくとともに、総事業費を基本とする予算の確保を図っていく。 学校の特色のある取組みを支援する予算要求の仕組みは、引き続き実施していく。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	③	学校教育の充実

事業名	児童等健康管理事業	担当課名	教育政策課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
学校における児童・生徒及び教職員の健康の保持増進を図るための保健管理とともに、教育活動が安全な環境において実施され、児童・生徒等の安全確保を図るための安全管理に関する措置を講じ、学校教育の円滑な実施に資することを目的とする。
(事業概要等)
<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒・教職員の健康保持増進に関すること ・学校管理下における怪我、不測の事態に対する環境整備 ・一定の要件を満たす児童・生徒等への特定疾病に対する医療費扶助

【事業費】

項目／年度	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (決算見込額)	R03 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	35,841	35,626	34,467	38,322	
うち市負担分(千円)	32,958	32,924	30,433	36,135	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値

(指標を設定できない理由)
実施そのものが法で定められた健康診断をはじめとする健康の維持管理や、学校管理下で不測に発生した怪我等に対する備えが主な事業内容であり、数値での指標設定が困難であるため。
(成果の概要)
各種健(検)診の実施により、児童・生徒・教職員の健康保持増進を図ることができた。学校・教育委員会・医師の連携による学校保健会については、コロナウイルス感染拡大防止の観点より活動が縮小された。また、日本スポーツ振興センター等への加入や医療費扶助等により、特定の疾病や学校管理下での怪我による受診に対し、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	校務支援システムの導入に伴い、健康診断票のデータ化による児童生徒の健康管理の効率化及び一元管理ができるよう環境の整備を行った。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	校務支援システムにおける児童・生徒の健康管理の効率化及び一元管理を行う中での不具合等の改善。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 法に定められた各種健(検)診を実施するとともに、学校・教育委員会・三師会の一層の連携により、児童・生徒・教職員の健康保持増進に取り組む。
改革・改善策等の具体的内容	児童・生徒の健康管理をより効果的に行うため、小・中学校に対して、校務支援システムの積極的な活用を促進する。また、教職員のメンタルヘルス対策としてストレスチェック引き続き行うとともに、教職員を対象としたメンタルヘルス研修の実施に向けて、関係部局と協議する。	